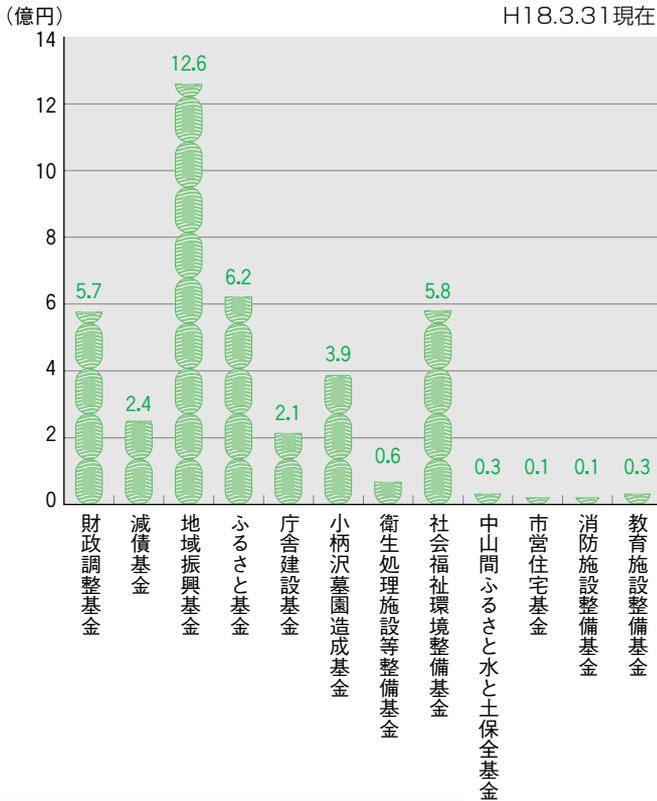
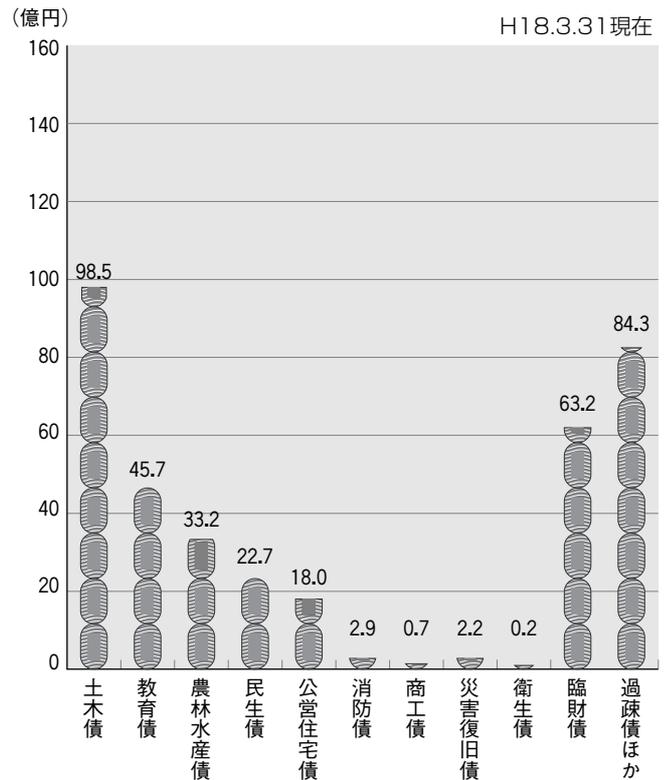


グラフ① 基金残高（一般会計）



預金 (基金) & 借金 (市債)

グラフ② 市債残高（一般会計）



市民1人当たりの預金

62、764円

現在、市には32種類の基金があります。主な基金の17年度末残高をグラフ①に表しました。

基金とは、それぞれの目的に応じて積み立てている預金のよくなものです。財政調整基金は、一般財源が不足したときなどに、また減債基金は市債の返済のために使われることがあります。

18年度予算では、財政調整基金を3億円、減債基金を2億円取り崩しています。

また、地域振興基金から4億2千万円を取り崩します。これは、道路の維持補修や扇田まちづくり事業などに充てられます。

さらに、社会福祉環境整備基金の2億8千万円の取り崩しは、介護保険特別会計への繰り出しや、二井田・真中地区のデイ・サービス事業、田代地区生きがい活動支援事業などに充てられます。

18年度に予定している小柄沢墓園造成には、小柄沢墓園造成基金7千万円を取り崩します。

市民1人当たりの借金

542、636円

現在、市には458億1千万円の市債があります。市債とは、

市の借金に当たるものです。

一般会計の市債残高は371億6千万円、特別会計の市債残高は86億4千万円です。一般会計の市債残高をグラフ②に表しました。

市債の内訳(市民1人当たり)

- 土木債 (116、664円)
- 教育債 (54、166円)
- 農林水産債 (39、309円)
- 民生債 (26、917円)
- 公営住宅債 (21、322円)
- 消防債 (3、468円)
- 商工債 (884円)
- 災害復旧債 (2、552円)
- 衛生債 (271円)
- 臨時財政対策債 (74、815円)
- 過疎対策債ほか (99、861円)

●特別会計 (102、407円)

想像以上に借金が多いと感じるのではないのでしょうか。

いづれ借金は、市民が返済していくこととなりますが、返済には地方交付税で補てんされるものがあるため、借金のすべてが市民の負担になるといっていただけではありません。

しかしながら、今後、地方交付税が減少すると予想されることから、限られた財源の中で、市民サービスを維持するために、道路や下水道などの市民生活基盤にかかわるものには重点的に予算を配分しています。